

早川工業(株)

関市・金属のプレス加工・金型設計製作

従業員数／男性17名 女性6名 計23名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①ダイバーシティ経営に注力し、多様な人材が活躍できる職場
- ②社員のやりたいことを実現できる環境
- ③男性の育児休業取得への理解があり、当たり前に取得可能



LGBTの受け入れ体制が整備されていき、LGBTフレンドリー企業に認定された。

また、20年からは多様な人材のための研修などをを行う団体からLGBTフレンドリー企業に認定された。

2017年には、LGBT理解のための研修などを実施。2017年には、LGBT理解のための研修などを実施。LGBTフレンドリー企業に認定された。

2017年には、LGBT理解のための研修などを実施。LGBTフレンドリー企業に認定された。

2017年には、LGBT理解のための研修などを実施。LGBTフレンドリー企業に認定された。

2017年には、LGBT理解のための研修などを実施。LGBTフレンドリー企業に認定された。

2017年には、LGBT理解のための研修などを実施。LGBTフレンドリー企業に認定された。



新規事業として立ち上げた廃材を使ったワークショップは若い女性を中心に人気が出ている。

多様な人材が活躍できる職場

早川工業では、多様な人材の活用を図るダイバーシティ経営に力を入れている。障がい者も働きやすい環境を整えるため、ジョブコーチの配置や保護者との面談を実施。

兼業人材や、大学生の長期インターンをリモートで雇用している。兼業人材との新規事業として、工場の一角で廃材を使ったものづくりのワークショップを体験できる「ハレのシャコウ場」を立ち上げ、若い女

性を中心に新たな客層を開拓。また、インター生は営業や売上分析などを担当している。

こうした取組みに対し、初めは戸惑いの声もあつたが、共に働く中で社員の意識が多様性に対し前向きなものに変化し、今では互いにどうて良い刺激となっている。

男性の育児休業取得にも力を入れ、管理職への研修や社内報などで理解を深めている。10日間の育休

を取得した製造部の川村昌孝さんは「家事などで妻のサポートができた」と話す。また、男女問わず家庭の事情や体調などにより定時で働くことが難しい場合は、勤務時間や日数を選択することができる。